



校章



校章の由来

校章のデザインは、井原元校長の手によるものです。東豊中で初めて建設された学校ですから「東」を強調し、まわりを豊中市章の「ト」で囲んだものです。さらに、豊中市の木であるキンモクセイの葉を図案化して「小」をかたどり、香り高い個性豊かな子どもたちの成育を願い、昭和42年(1967年)7月20日に制定されました。

豊中市市章



図案化した豊中(トヨナカ)の頭文字「ト」を4個組み合わせて「トヨ(豊)」ともじり、全体の形を中と見立てて「豊中」としたものです。図案文字の突起は豊中市が四方八方に発展することを象徴しています。(豊中市HPより)